

とよしん 景況調査

NO.136

- 景況アンケート調査（2024年4月～6月期実績 2024年7月～9月期見通し）
- 特別調査 「カーボンニュートラルの取組みについて」
- スポットライト～がんばる地元企業～ 「豊橋煙火株式会社」



提供：豊橋煙火株式会社

＼みんなにエール！／
豊橋信用金庫

2024年7月発行

《第136回景況アンケート調査》

総括判断

『当地区の景況は、一部業種に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している。』

とよしん景況天気図(業況DI)

	2023 年 4～6 月	7～9 月	10～12 月	2024 年 1～3 月	当期実績 4～6 月	来期見通し 7～9 月
全業種総合	 4.3	 3.5	 7.4	 1.6	 5.8	 4.6
製造業	 1.4	 ▲1.5	 9.3	 ▲4.3	 ▲1.4	 2.2
卸売業	 0.0	 0.0	 1.7	 8.1	 22.2	 9.5
小売業	 6.3	 0.0	 6.3	 4.8	 ▲1.7	 3.4
サービス業	 5.7	 5.5	 13.5	 1.3	 7.3	 6.0
建設業	 7.4	 6.4	 6.4	 4.7	 8.0	 7.0

《天気図の見方 (DI)》

 良 い
30 以上

 やや良 い
10 以上～30 未満

 普 通
▲10 未満～10 未満

 やや悪 い
▲10 以下～▲30 未満

 悪 い
▲30 以下

《調査要領》

調査期間

2024年5月1日(水)～5月31日(金)

調査対象時期

2024年4月～6月期実績

2024年7月～9月期見通し

調査方法

当金庫職員による聞き取りアンケート調査

調査対象企業

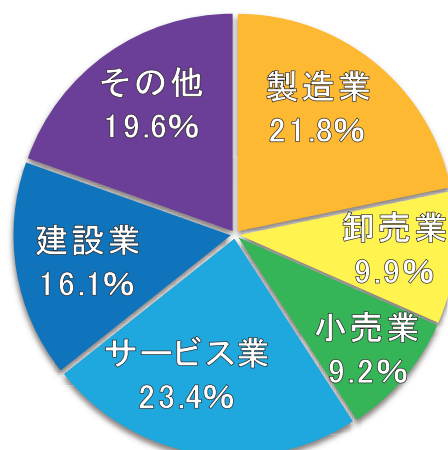
当金庫お取引先企業 639社

分析方法

DI(ディフュージョン・インデックス)を中心とした分析

※DIとは、各調査項目で「増加(上昇・良い)」と回答した企業割合から、「減少(下降・悪い)」と回答した企業割合を差し引いた値を指数化したものをいいます。

調査対象企業(639社)の内訳



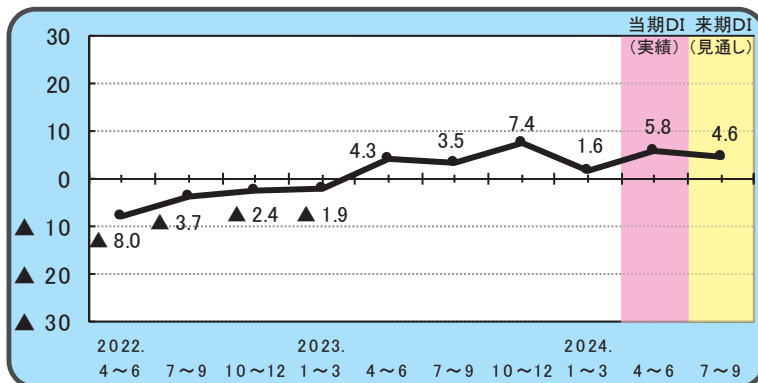
全業種総合

～業況・売上・収益すべて改善～

業況

【当期(4～6月)DIの実績】
5.8 (前期比+4.2ポイント)

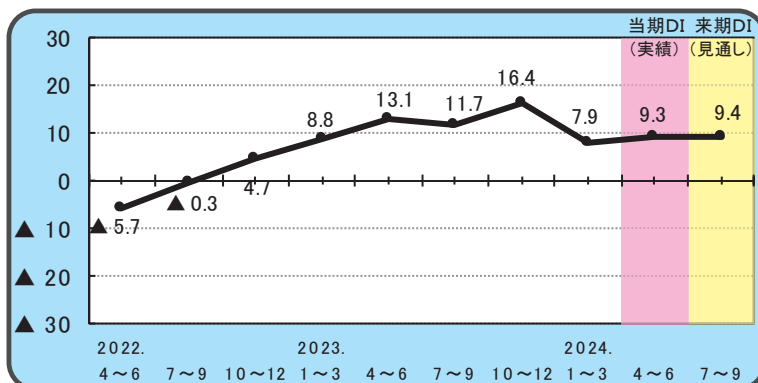
【来期(7～9月)DIの見通し】
4.6 (当期比▲1.2ポイント)



売上

【当期(4～6月)DIの実績】
9.3 (前期比+1.4ポイント)

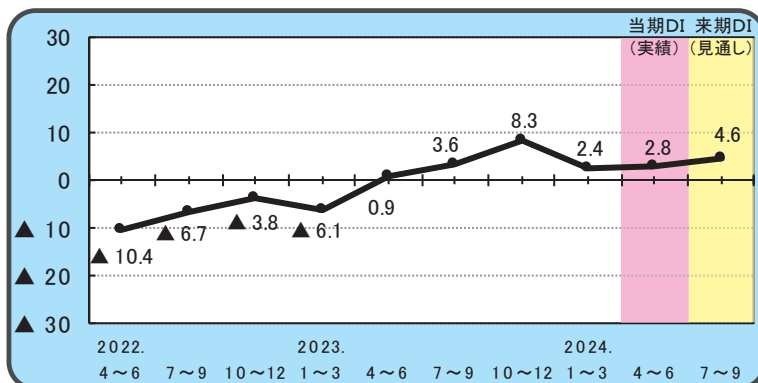
【来期(7～9月)DIの見通し】
9.4 (当期比+0.1ポイント)



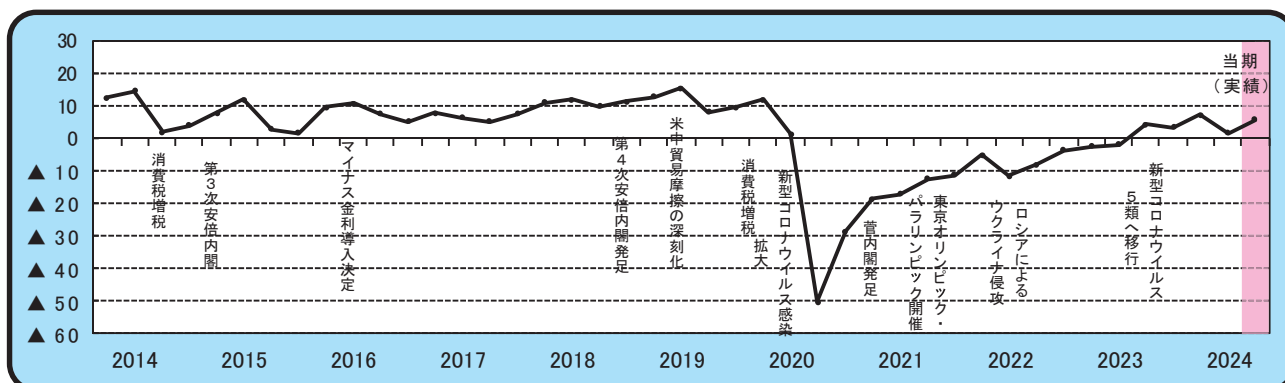
収益

【当期(4～6月)DIの実績】
2.8 (前期比+0.4ポイント)

【来期(7～9月)DIの見通し】
4.6 (当期比+1.8ポイント)



過去10年間の業況DI推移



製造業

～業況・売上は改善、収益は悪化～

当期業況DI
(実績)
2024年4～6月



▲1.4

来期業況DI
(見通し)
2024年7～9月



2.2

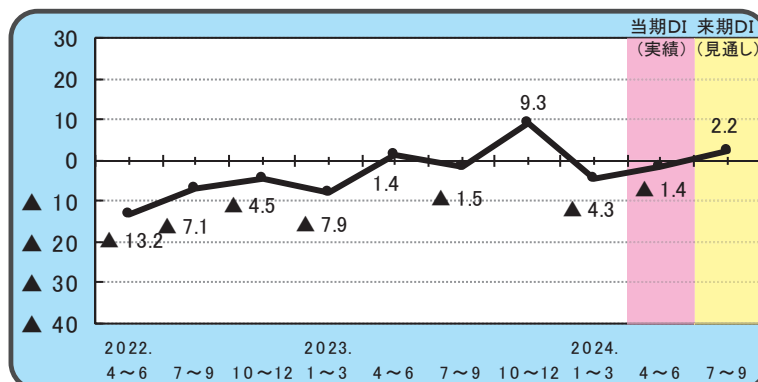
業況

【当期(4～6月)DIの実績】

▲1.4 (前期比+2.9ポイント)

【来期(7～9月)DIの見通し】

2.2 (当期比+3.6ポイント)



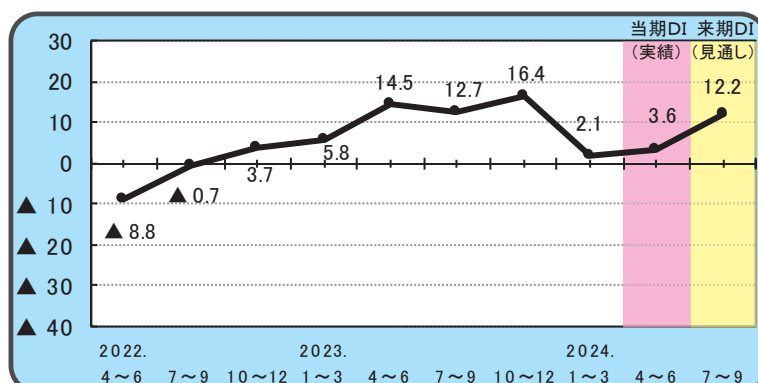
売上

【当期(4～6月)DIの実績】

3.6 (前期比+1.5ポイント)

【来期(7～9月)DIの見通し】

12.2 (当期比+8.6ポイント)



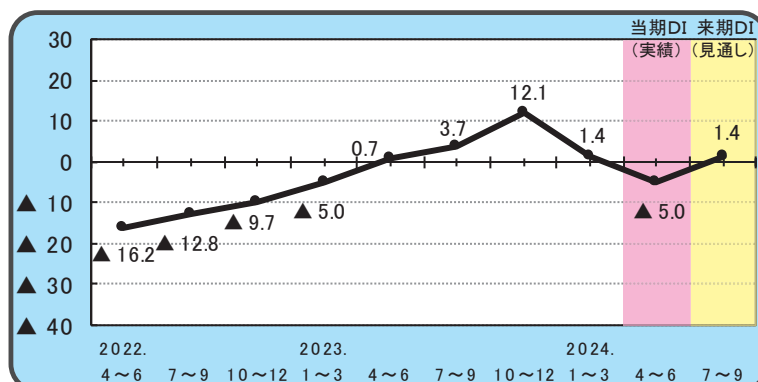
収益

【当期(4～6月)DIの実績】

▲5.0 (前期比▲6.4ポイント)

【来期(7～9月)DIの見通し】

1.4 (当期比+6.4ポイント)



- 自動車関連を中心に、自動車メーカーの認証不正問題で出荷を停止していた車種が順次生産を再開したことが影響し、当期の業況DIは改善。
- 精密機器関連を中心に、自動車メーカー等取引先からの需要は旺盛であるが、急速な円安の進行や原材料価格およびエネルギー価格の高騰により、価格転嫁が追いつかず収益環境は厳しい状況である。
- 菓子製造関連は、引続きインバウンド需要は旺盛で、観光地からの受注が増加し、売上は回復傾向にあるが、原材料費、人件費等高騰分が収益を圧迫している。

卸売業

～業況・売上・収益すべて改善～

当期業況DI
(実績)
2024年4～6月



22.2

来期業況DI
(見通し)
2024年7～9月

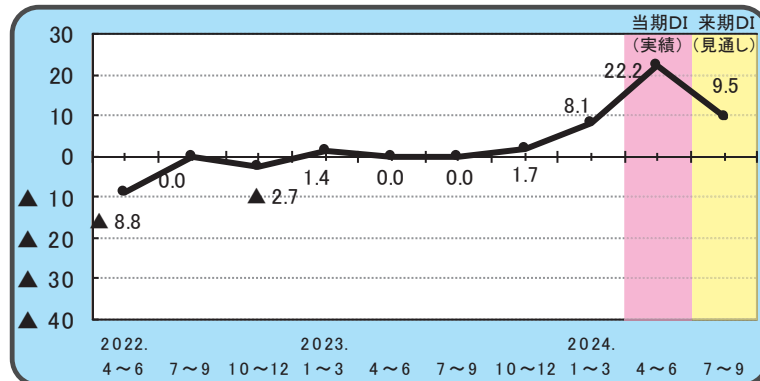


9.5

業況

【当期(4～6月)DIの実績】
22.2(前期比+14.1ポイント)

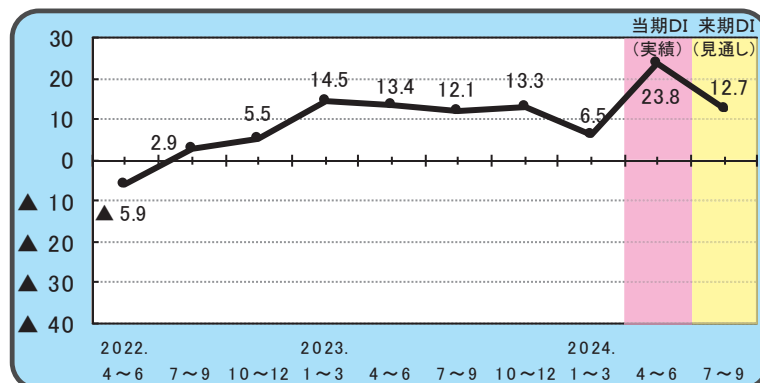
【来期(7～9月)DIの見通し】
9.5(当期比▲12.7ポイント)



売上

【当期(4～6月)DIの実績】
23.8(前期比+17.3ポイント)

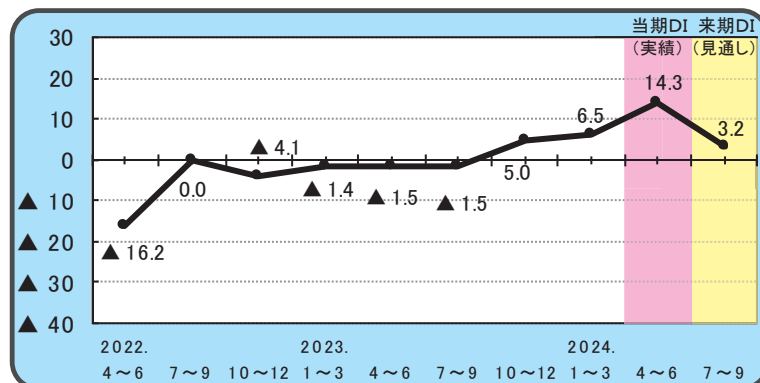
【来期(7～9月)DIの見通し】
12.7(当期比▲11.1ポイント)



収益

【当期(4～6月)DIの実績】
14.3(前期比+7.8ポイント)

【来期(7～9月)DIの見通し】
3.2(当期比▲11.1ポイント)



- ・仕入値の上昇に対応した販売価格への転嫁が実施できているとの意見も見られるなど、当期の業況DIは上昇している。
- ・飼料や美容材卸等は仕入値の上昇が一服し、順調に推移している。
- ・青果関連は5月にキャベツ相場が高騰したことから、業況、売上、収益すべてが順調に推移しており、落ち着くまでは平年より高値での相場推移が見込まれる。
- ・木材関連は、各種資材が物価高の影響で値上がりしており、高止まりが続いている。
- ・建築・内装資材関連についても資材の高騰が続いており、住宅新築需要停滞の要因となっている。

小売業

～業況・売上・収益すべて悪化～

当期業況DI
(実績)
2024年4～6月

来期業況DI
(見通し)
2024年7～9月



▲1.7



3.4

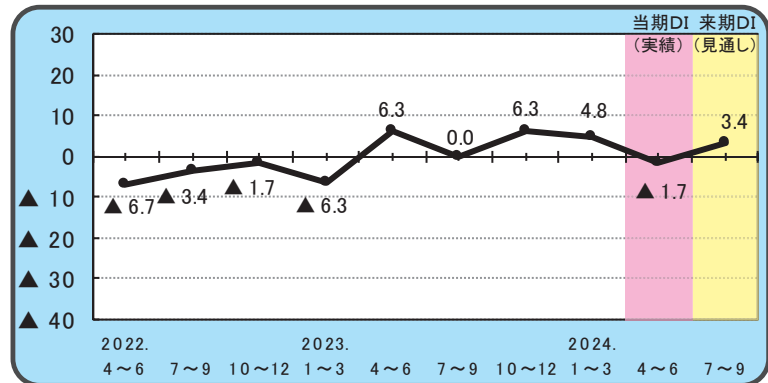
業況

【当期(4～6月)DIの実績】

▲1.7 (前期比▲6.5ポイント)

【来期(7～9月)DIの見通し】

3.4 (当期比+5.1ポイント)



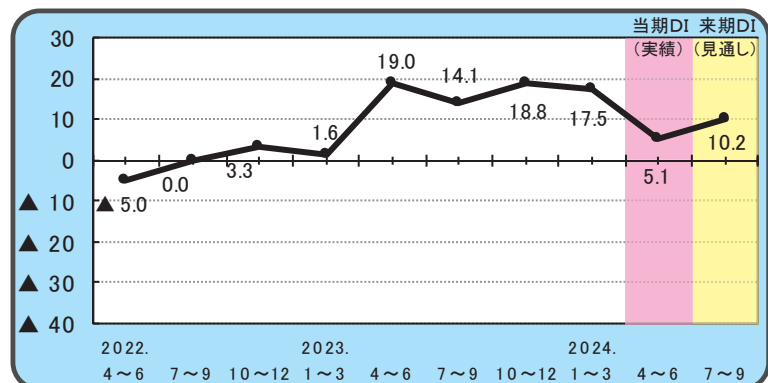
売上

【当期(4～6月)DIの実績】

5.1 (前期比▲12.4ポイント)

【来期(7～9月)DIの見通し】

10.2 (当期比+5.1ポイント)



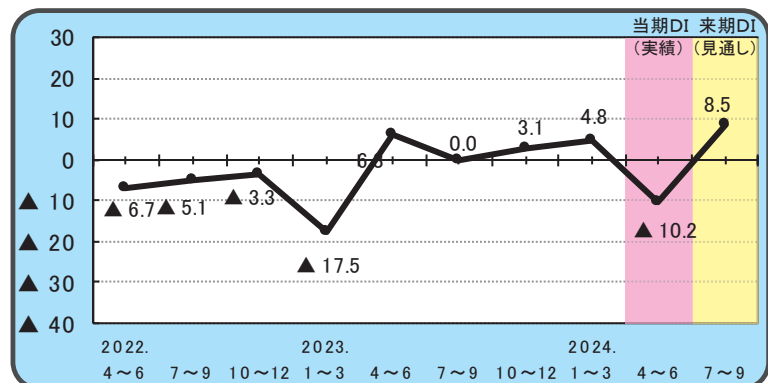
収益

【当期(4～6月)DIの実績】

▲10.2 (前期比▲15.0ポイント)

【来期(7～9月)DIの見通し】

8.5 (当期比+18.7ポイント)



- ・物価高による仕入値の上昇などから業況DIは低下している。
- ・売上は確保できている傾向にあるが、コロナ禍で削減した人員を元通り確保できず、人手不足に陥っている小売店も見られる。また、原材料価格の高止まりを販売価格に転嫁しきれずに収益が低調に推移するケースも見受けられた。
- ・自動車の新車販売台数は前年同期よりも落ち込んでいる。中古車市場においても販売台数は足踏みしており、大手メーカーの認証不正問題の影響が今後出てくる可能性もあり、販売環境は不透明な状況となっている。

サービス業

～業況・売上・収益すべて改善～

当期業況DI
(実績)
2024年4～6月



7.3

来期業況DI
(見通し)
2024年7～9月

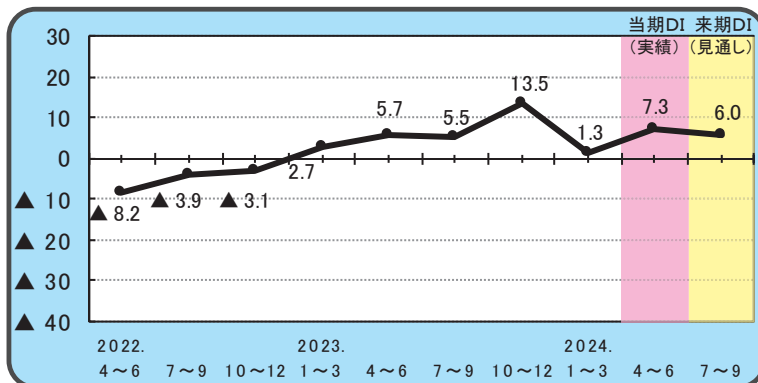


6.0

業況

【当期(4～6月)DIの実績】
7.3 (前期比+6.0ポイント)

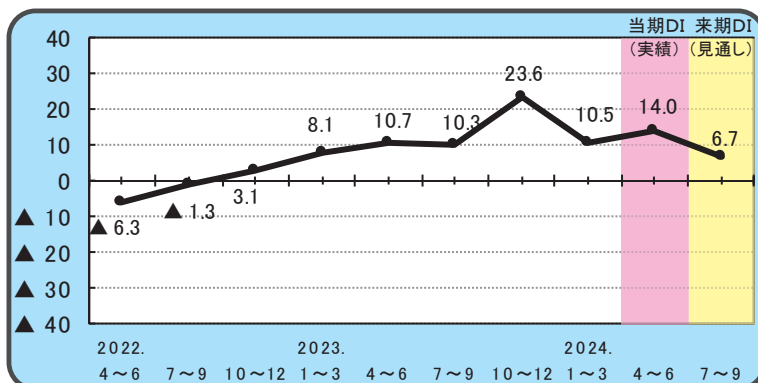
【来期(7～9月)DIの見通し】
6.0 (当期比▲1.3ポイント)



売上

【当期(4～6月)DIの実績】
14.0 (前期比+3.5ポイント)

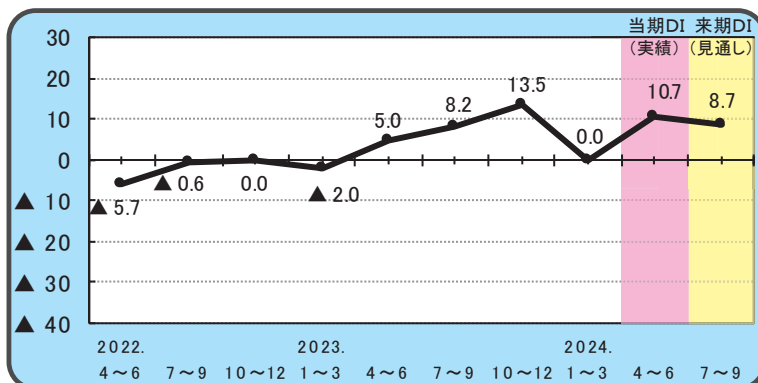
【来期(7～9月)DIの見通し】
6.7 (当期比▲7.3ポイント)



収益

【当期(4～6月)DIの実績】
10.7 (前期比+10.7ポイント)

【来期(7～9月)DIの見通し】
8.7 (当期比▲2.0ポイント)



- ・コロナ禍から脱し社会活動が活発になったことなどから、業界全体として活発になっており、当期の業況、売上、収益すべてのDIは改善している。
- ・飲食業は、消費活動が戻りつつあるも、円安の影響から材料費の高騰などが収益を圧迫しており、価格転嫁できるかどうか今後の課題である。
- ・医療・保健衛生業では、2024年の診療報酬改定により全体としては収入が増加していくものの、それ以上に物価やエネルギー価格の上昇に加え、医療DXの推進、人件費の上昇などのコスト負担増加が大きく、収益環境は厳しくなっている。

建設業

～業況は改善、売上・収益は悪化～

当期業況DI
(実績)
2024年4～6月



8.0

来期業況DI
(見通し)
2024年7～9月

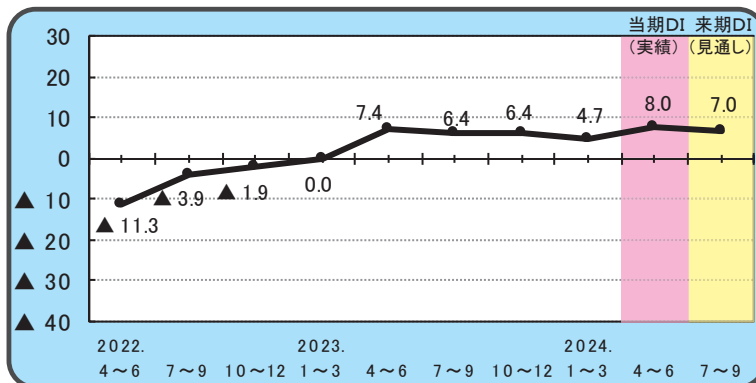


7.0

業況

【当期(4～6月)DIの実績】
8.0 (前期比+3.3ポイント)

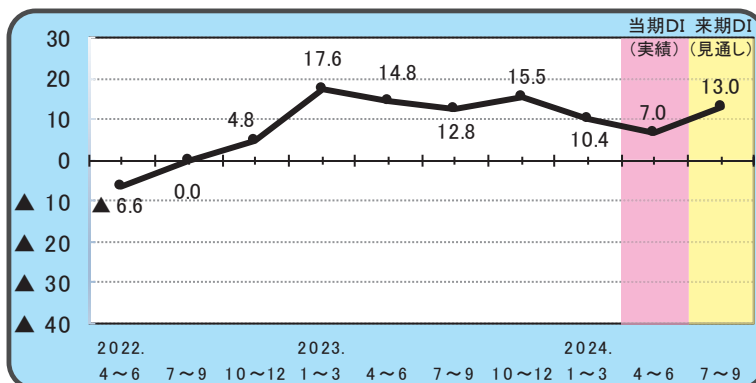
【来期(7～9月)DIの見通し】
7.0 (当期比▲1.0ポイント)



売上

【当期(4～6月)DIの実績】
7.0 (前期比▲3.4ポイント)

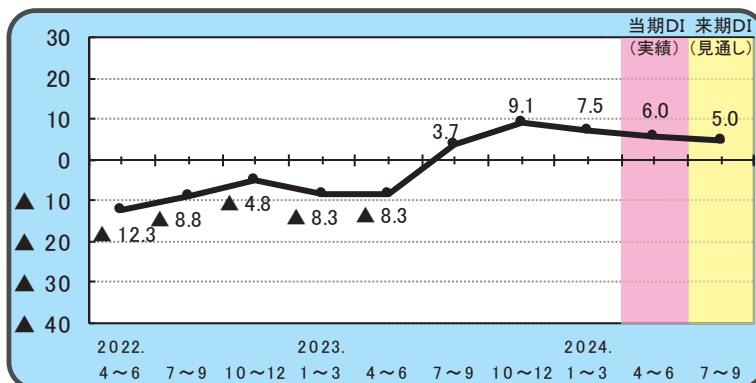
【来期(7～9月)DIの見通し】
13.0 (当期比+6.0ポイント)



収益

【当期(4～6月)DIの実績】
6.0 (前期比▲1.5ポイント)

【来期(7～9月)DIの見通し】
5.0 (当期比▲1.0ポイント)



- ・新築案件は伸び悩んでいるものの、リフォーム案件は安定推移しており、当期の業況DIは改善。
- ・人手不足（特に技能労働者や若手人材）引続き課題であり、中小企業には大手事業者のように賃金引上げをする余力がない先も多く、人手不足の深刻化が懸念される。
- ・住宅新築においては、木材等各種資材価格の高止まりにより建築コストが上昇しており、消費者マインドに影響を及ぼしている。
- ・公共工事については、昨年と同程度で推移している。人手不足や仕入価格を転嫁できず利益確保に苦慮しており、引続き原価管理を徹底していく必要がある。

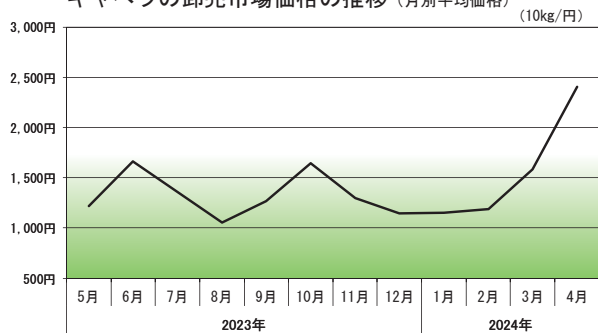
その他

- ・農業（キャベツ・輪菊）
- ・水産業（養鰻）・運輸業・不動産業

農業（キャベツ）

例年1～4月は出荷のピークとなる。天候不順の影響等で出荷量が減少したため4月は高値で推移。当地区農家の売上、収益は安定推移した。今後天候が回復すれば、出荷量が増加し、価格は落ち着く見込み。

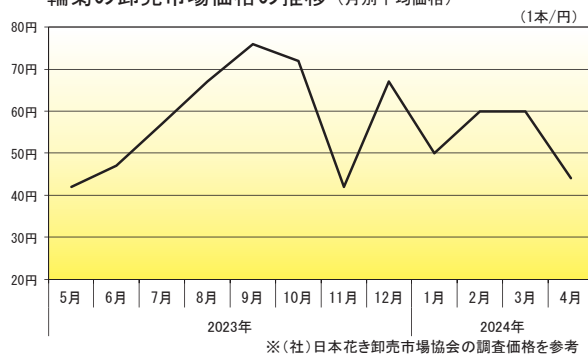
キャベツの卸売市場価格の推移（月別平均価格）



農業（輪菊）

例年通り4月は需要のピークを過ぎ価格は下落しているが、菊農家の減少や外国産の菊の輸入が円安、輸送コストの上昇を受け供給が減少しているため、4月後半以降価格は上昇しつつある。しかし肥料など生産コストが上昇していることから、利益は相場価格に左右される。

輪菊の卸売市場価格の推移（月別平均価格）



水産業（養鰻）

2024年のニホンウナギ漁獲量は前年度比で3割少なく、中国における不漁が特に目立っている。円安の影響も重なって3割程度輸入価格が高くなっている。餌や電気、物流経費は総じて増加しており、コスト上昇分の価格転嫁が課題。

運輸業

2024年問題により、労働条件の制約やドライバー不足を要因として、EC市場拡大等に伴う、物流量の増加に対応しきれない事象が起き始めている。宅配など需要は引続き増加傾向にあるが、燃料費高騰、競争激化等から引続き収益確保が課題。

不動産業

豊橋市は、人気エリアは需要があり不動産価格は上昇しているが、郊外は値下げをしても販売に至らない状況が続いている。豊川市は、イオンモール近隣駅付近での住宅やアパート新築、伊奈駅付近の建売や土地分譲は依然として盛んであり、今後も人口流入が期待される。

《特別調査》「カーボンニュートラル」について

《調査要領》

調査期間

2024年5月1日(水)～5月31日(金)

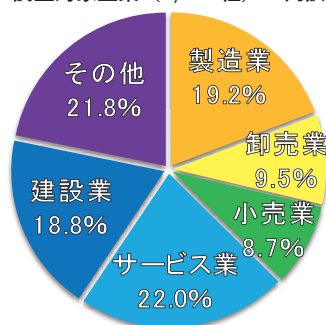
調査方法

当金庫職員による聞き取りアンケート調査

調査対象企業

当金庫お取引先企業 1,188社

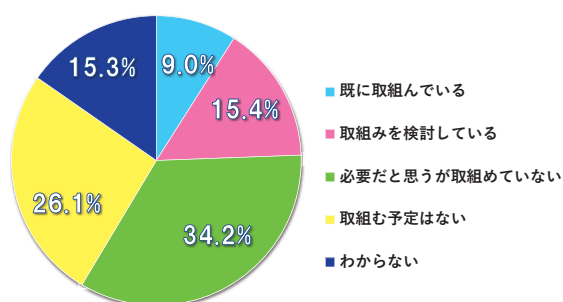
調査対象企業（1,188社）の内訳



●問1. 「カーボンニュートラル」の取組みについてお聞かせください。

全業種総合では、「既に取り組んでいる」が9.0%、「取組みを検討している」が15.4%、「必要だと思うが取組めていない」が34.2%、「取組む予定はない」が26.1%となった。

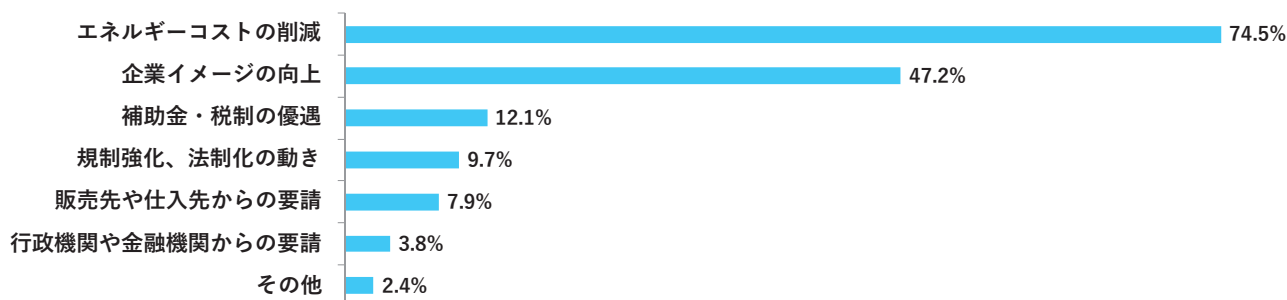
<全業種総合>



●問2. 問1で「1：既に取り組んでいる」「2：取組みを検討している」とお答えされた方にお伺いします。取組み実施や検討のきっかけは何ですか。

全業種総合で回答割合が高い項目は、「エネルギーコストの削減」が74.5%、「企業イメージの向上」が47.2%、「補助金・税制の優遇」が12.1%などとなった。

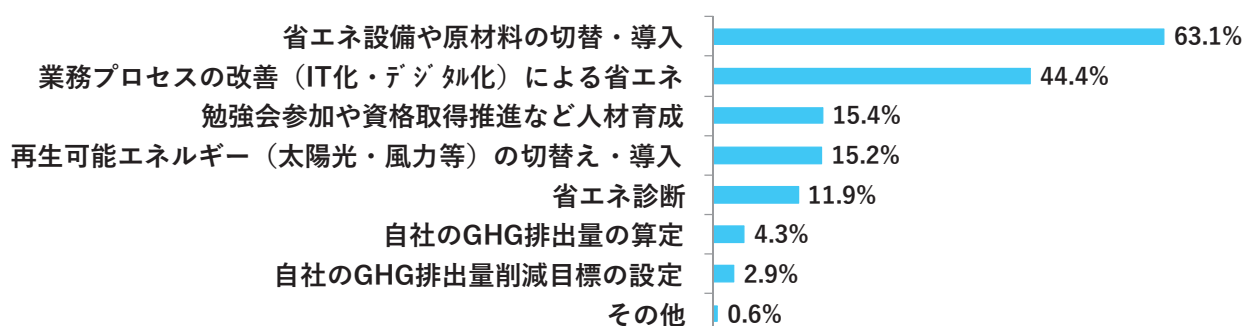
なお、業種別では、「エネルギーコストの削減」は製造業（80.7%）で8割超となった。



●問3. 問1で「1：既に取り組んでいる」「2：取り組みを検討している」「3：必要だと思うが取り組めていない」とお答えされた方にお伺いします。カーボンニュートラルの具体的な取り組みとして、「実施している」または「これから検討している」取り組み内容は何ですか。(複数回答)

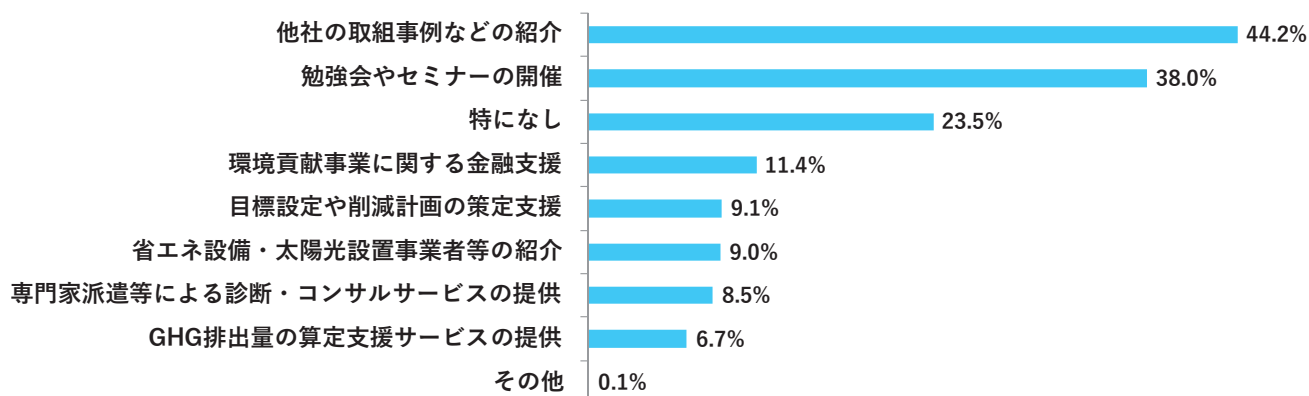
全業種総合で回答割合が高い項目は、「省エネ設備や原材料の切替・導入」63.1%、「業務プロセスの改善（IT化・デジタル化）による省エネ」44.4%、「勉強会参加や資格取得推進など人材育成」15.4%となった。

業種別では、「省エネ設備や原材料の切替・導入」は、製造業（44.6%）、建設業（40.9%）、「業務プロセスの改善（IT化・デジタル化）による省エネ」は製造業（25.7%）、卸売業（30.4%）、小売業（37.6%）となった。



●問4. すべての方にお伺いします。「カーボンニュートラル」の取り組みをする上で、地域金融機関に期待する支援は何ですか。(最大3つまで)

全業種総合で回答割合が高い項目は、「他社の取組事例などの紹介」44.2%、「勉強会やセミナーの開催」38.0%、「環境貢献事業に関する金融支援」11.4%となった。



スポットライト ～がんばる地元企業～



夜空を照らし、世の中に元気と感動を届ける「花火師集団」。
豊橋煙火株式会社

所在地：豊橋市石巻平野町字下大向野 50-1
事業：花火の製造
代表者：加藤公丈
設立：1950年10月
従業員：10名
TEL：0532-88-4616



国内唯一・自社製平巻き紙管による「紙製」の手筒花火をつくることで、地域の伝統文化を紡ぐ。

花火の製造を手掛ける豊橋煙火株式会社（代表取締役 加藤公丈）が、「手筒花火」発祥の地・ココ豊橋で、新たな取り組みを通じて地域の伝統文化を紡いでいく――。

手筒花火の担い手不足を乗り越えるべく、これまでの「竹製」の手筒花火から、簡便に準備・放揚できる「紙製」手筒花火用の紙管を自社でつくる取り組みを、新たに開始した。

豊橋の夏の風物詩「豊橋祇園祭」を支える「手筒花火」業界のリーディングカンパニー

豊橋煙火株式会社（以下、「当社」という）は、1950年に、現在の豊橋市民球場のある地で創業した、花火を製造する企業である。火薬を取扱うことから、今から約40年前に、住宅地より離れた豊橋市石巻町の広大な敷地に製造拠点を移転し、現在に至る。

当社は、打ち揚げ花火や手筒花火を製造し、全国各地の花火大会や祭礼に納めてきた。中でも、地元・豊橋の夏の風物詩とも言える「豊橋祇園祭」においては、初開催以降、約60年もの間、絶え間なく、趣向を凝らした花火を奉納することで、その歴史を支えてきた。



2021年開催の豊橋祇園祭において打ち揚げられた当社の手筒花火

10人の“花火師”による、花火を「つくる」～「綺麗に魅せる」までの豊富な知見

当社は、現代表者の父が当地で創業して以来、74年の業歴をもつ。その間、「花火師」と呼ばれる花火職人

たちが、花火を「つくる」から「綺麗に魅せる」までの「花火に関する知見」を探求し、代々受け継いできた。

例えば、花火を製造するにあたって、「使用する材料・火薬の種類」や「化合物ごとに見える色の違い」を理解していないとつくることができない。花火師たちは、材料や火薬の特性を理解したうえで、使い分け、配合・成形・組立・仕上げを行う。そのため、当社では、花火は【化学】と【職人技】と【伝統】の融合により、人々の心を豊かにする傑作物であると心得ている。



「花火師」による熟練技術で火薬を詰めていく

テレビや雑誌などの取材や撮影に応じることで、豊橋の観光プロモーションの一翼を担う

豊橋市では、手筒花火を貴重な地域資源として位置づけている。豊橋に来訪し、伝統文化を体感してもらうために、（一社）豊橋観光コンベンション協会が制作

した観光パンフレット「豊橋手筒花火マップ」の取材依頼を受けたり、NHK連続テレビ小説「エール」等テレビ番組撮影のための手筒花火をつくるなど、「手筒花火」メーカーの代表企業として、地元豊橋の観光プロモーションの一翼を担っている。



当社が取材協力したことで完成した「豊橋手筒花火マップ」

「竹製」に比べて準備や取扱いが容易な「紙製」 手筒花火のニーズが高まっている

当社が携わる手筒花火は、竹製と紙製とがある。竹製は、竹林から伐採して得た竹に火薬などを詰めていく伝統的な製法となるが、放揚している際に、竹が割れていると、暴発する危険性をはらんでいる。また、竹という自然の材料を使うことから、伐採してからしばらくすると、乾燥による割れやカビが生えるなど、保存可能期間は約1ヵ月と短い。一方、紙製、とりわけ「平巻き紙管」(※)は、竹と比べて、長期保存ができる事や、手筒をつくる時に割れる心配がなく、筒の異常による暴発リスクが低いという特長がある。

こうした背景から、手筒花火のつくり手・揚げ手ともに、「担い手不足」という課題を解消し得る「紙製」手筒花火の利用ニーズが高まっている。

※「平巻き紙管」とは、紙を筒状に何重にも丸めた紙管を指す。紙を斜めに巻いていく巻き方を「スパイラル巻き」と言い、ラップの筒などが挙げられる。



竹より取扱いが容易な“平巻き紙管”による手筒花火

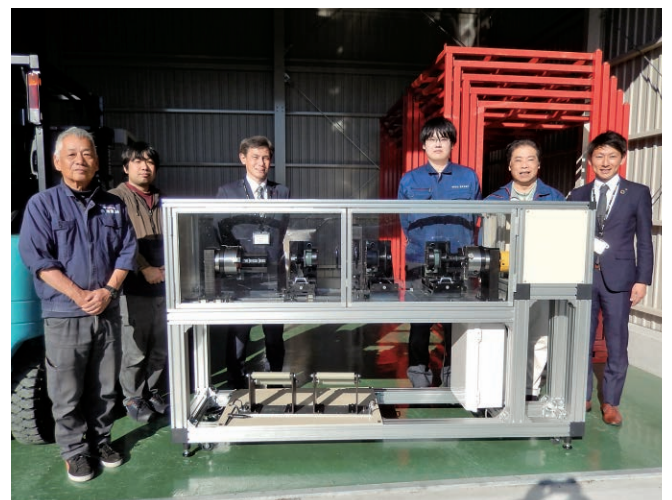
手筒花火専用の「平巻き紙管」の製造を手掛けてきた企業の事業撤退を受け、当該事業の譲受を決断

国内で唯一「手筒花火専用の平巻き紙管」を製造してきた山形県の企業が、担い手不足を理由に、当該事業から撤退することとなった。このままだと、「平巻き紙管」が国内で手に入らなくなり、伝統産業の衰退が懸念されることから、当社が当該事業の譲り受けを決断。これを契機に、「手筒花火」業界のリーディングカンパニーである当社が、「平巻き紙管」の製造を担うことで、地域の伝統産業のさらなる発展に貢献したいと考えた。

地域の企業や金融機関を巻き込み、みんなの協力を得て、地域の伝統文化を紡ぐ体制を整えた

手筒花火専用の「平巻き紙管」を製造するにあたって、山形県の企業を視察したうえで、専用の工程を構築した。紙を巻き取り、糊で貼りつけることから、「貼付」や「乾燥」、「切断」などの「平巻き紙管」特有の工程がある。そのため、山形県の企業から譲り受けた「巻き取り機」に加えて、新たな設備も導入した。そのうちの「切断機」については、汎用機械では紙管を切断することが難しいことがわかった。この悩みを豊橋信用金庫井原支店に相談したところ、井原支店の取引先である(株)堀江・設計事務所より「製作可能である」旨の回答を得て、専用の切断機を製作してもらうことができた。こうして、当社は、地域みんなの協力を得ることで、伝統文化「手筒花火」を、新たな技術「平巻き紙管」で支える体制を整えた。

今年の豊橋祇園祭も、当社の花火が豊橋の夜空を彩り、見る者に元気と感動を届け、世の中を明るくするであろう。



切断機を囲む「当社」「堀江・設計事務所」「豊橋信用金庫」

【豊橋信用金庫 井原支店・事業支援部】



地域に届ける、広がる、 コミュニケーション！

■ LINE公式アカウント @toyoshin



友だち登録で、キャンペーン情報など
お得な情報をお届け！

■ Instagram／Facebook

「豊橋信用金庫＼みんなにエール！／」

とよしんの職員が、お客様のこと、地域のこと、ともに働く
仲間のことを「考える」活動#TOYOHASHI_THINKINGを発信中！



TOYOSHIN_TOYOHASHI.THINKING



見てね♪



Toyohashi Thinking

＼みんなにエール！／
豊橋信用金庫

豊橋市小畷町579番地
TEL (0532)- 52 - 0321(代)
<https://www.toyo-shin.co.jp>

